

実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	30
学校名	富山県立志貴野高等学校

学校の現状と課題	本校生徒の成育歴、学習歴、家庭環境は多様で、いろいろなつまづきや事情を抱えることから様々な経験が乏しい生徒が少なくない。生徒一人一人がこれからの社会をたくましく生き抜き自己実現を図るためにも、実践的・体験的な活動を通して経験を増やす中で、生徒自身が自己理解を深め、自分自身の課題解決に主体的に取り組む力を育みたい。	
テーマ(特色)	実践的・体験的な活動を通じた主体的な課題解決力の育成と社会的自立を促す教育の推進	
設定した「テーマ」の達成状況	1 心身の健康に関する研修会、生徒保健委員会を中心とした「スマホと心身の健康について」の調査・研究活動の実施、行動計画の提案【保健・教育相談部】 2 地域資源と連携した職業体験講座の実施【夜間部】 3 生活産業に携わるスペシャリストから学ぶバス研修、特別授業等の実施【生活文化科】	
実施内容 (具体的に記入する)	1 保健教育相談部 (1)心身の健康に関する研修会の実施 (2)生徒保健委員会を中心とした調査・研究活動、行動計画の提案 ・「スマホと心身の健康について」の研究テーマにもとづき、全校生徒を対象としたアンケートを実施 本校生徒のスマートフォンの使用状況やインターネット依存傾向について調査 ・文化祭にて研究発表(「スマホとの上手な付き合い方プロジェクト」) ・生活改善に取り組むホームルーム活動の提案 2 夜間部 (1)自己分析に係る事前学習 (2)特別養護老人ホーム施設職員と連携した、自己理解を深め、進路意識の高揚を図る体験講座の実施 (3)事後学習(体験講座のふりかえり) 3 生活文化科 (1)生活産業に係る企業等での研修(松井機業、能作等) (2)生活産業に係る特別授業等の実施 ・地域の伝統的な食文化や食材(昆布料理、味噌を使った料理等)への理解 ・地域の伝統的な食文化や食材を生かした創作弁当作り ・もの作り体験を通して地域産業の可能性と魅力発見	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	1 保健教育相談部 ・生徒保健委員会では係分担を行い協力して調査・研究活動に取り組んだ。 ・生徒保健委員会では生徒の実態や研修会での学びをふまえ、全校生徒にスマートフォンとの付き合い方に関する改善策の紹介や生徒自身がそれを実行して効果を振り返るホームルーム活動の提案等を行い行動変容を促した。 ・スマートフォン使用状況やインターネット依存傾向等について生徒各自が自身を振り返る機会となった。 ・生活改善を実践したことで目の疲労改善や時間の有効活用等、良い効果が実感できた。 2 夜間部 ・一連の活動を通し自分の長所や特徴を知り自己理解が深まった。 ・介護技術体験時には周囲とコミュニケーションを図りながら一つの活動に取り組んだ。 ・講義や移動、整容、食事等の介護技術を通して介護職への理解が深まり働くことについて主体的に考える契機となった。 ・介護技術体験を通して自分に求められていることを理解し行動に移すことの重要性を学び実践することができた。 3 生活文化科 ・絹織物、鋳物、製材、食品等、地域の伝統的な生活産業や課題について企業訪問や社員による講義、実習等を通して実践的、体験的に理解した。 ・企業訪問や特別講座等を通して地域生活や産業の担い手としての意識が向上した。 ・特別講座で得た知識と技術を創作弁当作りに生かした。献立や使用材料、分量決め等、試行錯誤を繰り返す中で納得のいく内容に仕上げ達成感を味わった。 ・キルト作家による作品等の鑑賞を通して感性や創造性を育み、生活の質の向上のために家庭科の学びをどう生かすかを主体的に考えた。	
対象者(学年・人数など)	全校生徒【昼間単位制Ⅰ部 120名、Ⅱ部 53名(うち 生活文化科 38名)、夜間単位制 22名】	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	〔保健教育相談部〕アンケート作成・実施
	7月	〔保健教育相談部〕アンケート集計・考察 〔生活文化科〕生活産業に携わるスペシャリストから学ぶバス研修
	8月	
	9月	〔保健教育相談部〕心身の健康に関する研修会、事後アンケート
	10月	〔保健教育相談部〕文化祭での研究発表
	11月	〔保健教育相談部〕生活改善に取り組むホームルーム活動、アンケート実施、まとめ 〔生活文化科〕外部講師による特別授業(4講座)
	12月	
	1月	〔保健教育相談部〕生活改善に取り組むホームルーム活動 〔生活文化科〕地域の伝統的な食文化や食材を生かした創作弁当作り 〔夜間部〕『はたらく体験講座』事前学習
2月	〔夜間部〕『はたらく体験講座』、事後学習	
3月		